

桃陵中だよい

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃

2月号 令和5年1月31日

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ

社会に貢献する 生徒を育む』

避難訓練

1月26日(木)6限に、シェイクアウト訓練の動画を視聴するなど「防災学習」を行いました。その後、訓練の“緊急地震速報”を発令して「避難訓練」を行いました。今回は北校舎2階の第一理科室より出火したことを想定して、通常ではない避難経路で避難する訓練をしました。生徒も教職員も全員、緊張感のある無言での速やかな避難・集合ができたと思います。私(校長)からは、「この避難訓練の成果と災害時の避難場所・その避難場所に避難できないときの各家庭の集合場所を家で話し合うように」と話しました。1995年の阪神淡路大震災や2011年の東日本大震災を教訓に活かしたいと思います。また宇治川の氾濫などの水災害についても、その対応を確認しておきましょう。

ベル着点検と身だしなみキャンペーン②

美化生活委員会の呼びかけて、1月10日(火)から17日(火)まで「ベル着点検」を行いました。「休憩時間とのメリハリをつけるため」「授業をスムーズにするため」を目的に“机の上に次の授業の用意がそろっている状態で、チャイムが鳴り始める前に着席する”を基準にしました。その成果として、全校生徒の休み時間の意識も授業への意識も向上しました。また生徒会本部の呼びかけて、1月24日(火)から27日(金)まで「身だしなみキャンペーン②」を行いました。前回を受けて学校生活にふさわしい着こなしについて考えたり話し合ったりする期間としました。3年生にとっては、入試に向けて、“服装について”考える機会となったと思います。

卒業証書の割り印

卒業証書の割り印について、京都市教育委員会の方針に基づき、本年度から省略いたします。

割り印は、卒業証書と卒業証書台帳(卒業生の一覧が記録される帳簿)の関連を証明するため、2つの紙面にまたがらせて押す印鑑です。押印に法令等の定めはなく、卒業証書と卒業証書台帳の関連も番号や氏名等で関連を証明できるため、押印作業の手間や、今後の台帳の電子化等も見据え、本年度より、全市統一で割り印を省略することとなったものです。

※裏面には「桃陵中学校 2月行事予定」を載せています。

京都はぐくみ憲章

~子どもを共に育む京都市民憲章~



京都はぐくみ憲章

わたくしたちは、

- 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活习惯と家族の絆を大切にします。
- 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。